

第6回 情報化施工推進会議

議事概要

1. 日 時：平成 21 年 8 月 5 日（水） 10 時 00 分～12 時 00 分
2. 場 所：中央合同庁舎 7 号館 904 会議室
3. 出席者：建山和由委員長、高橋弘委員、矢吹信喜委員、藤澤侃彦委員（欠席）、古屋弘委員、今岡亮司委員、小野木健二委員、武内利幸委員、立石洋二委員、野村健一郎委員、平木彦三郎委員、福川光男委員、保坂益男委員、松隈宣明委員、三柳直毅委員、藤森祥弘委員、横山晴生委員、渡辺和弘委員、細見寛委員（代理出席）、深澤淳志委員（欠席）、金尾健司委員、藤本聡委員、中村敏一委員、林日出喜委員、横田聖哉委員

4. 議事概要

◆議事 2. 情報化施工に関する最近の動向

- 中部地整で実施されている ICT 研究会との情報交換や成果の共有をすべきである。

◆議事 3. 情報化施工推進戦略のフォローアップ

(1) 試験施工について

1) H20 試験施工調査票集計結果（暫定版）

- 道路付随工種などで必要な丁張りは、現状では削減できない場合もある。
- 監督検査で二重管理を実施している場合もあることが発注者がメリットを感じない結果の要因の一つになっているのでは。発注者側がメリットを感じる環境作りと、情報化施工に対する正しい情報の周知を図ることが必要と考える。
- 従来技術から情報化施工技術への変化に伴って、施工管理基準なども変えていく必要があると言うことで、検討を進めて頂いていると考える。
- MC などの技術が、欧米で広がりつつあるのに日本だけ広がらない事が不思議である。
- 技術が遅れているというよりも、導入が遅れていると言うこと。日本では、高度経済成長時代に急速にインフラの整備を進めるために、示方書やマニュアル・基準を作ってきたが、これが新しい道具に対応した変化に対応し切れていないと言うことだと思う。そんな中で、欧米に劣らない技術を推進するためには、どちらかと言うと発注者メリットを明確にするのが試験施工のねらいでもある。
- 情報化施工に対応した品質管理等のルールを一体に導入しないと、確かに見かけの施工効率は上がるかも知れないが、導入効果が低いまま止まってしまう。
- 発注者メリットを出すためには、従来方法に捕らわれない様にする必要があると、そのためにどうするかと言うことが問題になる。21 年度の試験施工に今回の結果をどう

反映させるかが重要だ。

- 品質向上という意見がアンケートで出ているが、品質向上という表現が安易に使われているのではないか。単に必要な品質向上を求める取り組みとならないよう留意すべきである。情報化施工では、信頼性の高い情報を連続的に取得することで監督や検査を不要とする事ができると思う。
- 品質向上は不要かといえばそうではないと思う。今まで管理できなかった部分も管理できるかといった観点では必要であろうが、どこまでそれを求めるかが検討が必要である。

2) H21 試験施工の取り組み

- 21年度は、普及が何故進まないのかを詳しく理由が分かるような聞き方をさせていただく。
- 3次元のデータ作成が手間という意見があったと思うが、一部のコンサルでは3次元の設計をしており、測量業者も3次元のデータを持っている。この様な潜在的な3次元データを利用するニーズやその利用方法も調査すべきである。

(2) 普及に向けた個別課題の取り組み

- 参考資料①で、帳票作成というプロセスが記述されているが、本来、必要なデータが渡されれば、このプロセスは不要と思う。監督・検査においても施工中にコミットすることで、トータルの手戻りをなくすという仕組みに変えていくべき。従来の仕組みを前提とした取り組みではなく、情報化施工という本質に基づいた組み立てをしてもらいたい。
- 情報化施工は監督検査も合理化されるべきであり、その終端にはコスト縮減に資することが必要であろう。これは、受発注者の合意形成を得ながら進めていくことが必要である。
- 現在の施工基準等を情報化施工に合うように、ただ焼き直すだけでなく、発注者として情報化施工を使って本当に何を実現したいのか、試験施工と併せてもう少し整理すべきではないか。
- 施工速度がアップする等、施工効率が向上するという結果が示されているが、発注者は、この点だけをとらえて、そのまま発注額減額等に直接結びつけないで欲しい。
- 情報化施工が浸透するまでは、導入者のモチベーションを下げない施策が必要である。また、普及促進に向けては、情報化施工を前提とした施工管理手法の導入が重要。
- ツールが変わったのなら、作り方や管理方法を変えるのは当たり前だが、これを変えないでツールだけ変えよう、コストはかけないでとお願いするから普及が進まない。その意識は持っているが、建設産業全体のあり方にも繋がる課題で発注者としても悩んでいることをご理解頂きたい。
- 次回（第7回情報化施工推進会議）は来年3月に開催を予定している。

以上